

1. 大阪府民の森とは?

大阪府政100周年の記念事業として**金剛生駒紀泉国定公園内**に作られた8つの自然公園（園地）

昭和42年(1967)～用地買収・整備
昭和53年(1978)～順次開放される

平成15年(2003)にほりご園地



大阪府庁の設置:明治元年(1868年)、100周年: 昭和42年(1967年)

2. 戦前・戦後の生駒山系

- 戦前(1945年まで) -- S20年まで
薪や柴の採取ではげ山
- 戦後(1945～1965年) -- S20年～40年
植林で緑を取り戻す
- 1965年 (S40年)以降
生駒の山の自然破壊が始まる
日本の高度経済成長期に都市建設・
港湾埋め立てで土砂採取が始まる
頻繁に山火事も発生(私有地)
S43, 45年には自衛隊が出動した

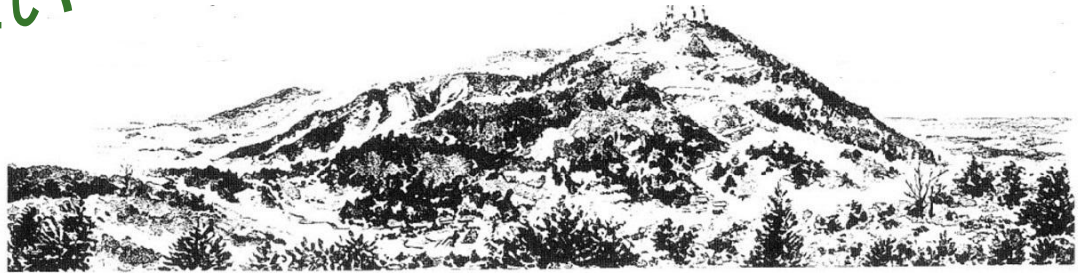
S20年代枚岡神社方面から神津嶽



S20年代の交野山

3. 生駒の山を守りたい

S42当時府民の森構想要旨
「この山のみどりを守ろう」



大阪平野が海であったころ、我々の祖先が築いた古墳群、今に残る伝説や詩歌、府民の心のふるさと生駒の山々は都市開発の勢いで年とともに土と緑を失っています。

生駒の山は土砂降りの雨に耐え洪水を食い止め人々の暮らしを守ってきました。またハイキングや行楽地として人々の疲れをいやしてきました。

その山が今むしばまれつつあります。それは静かに牙をとぐ自然の姿でもあります。

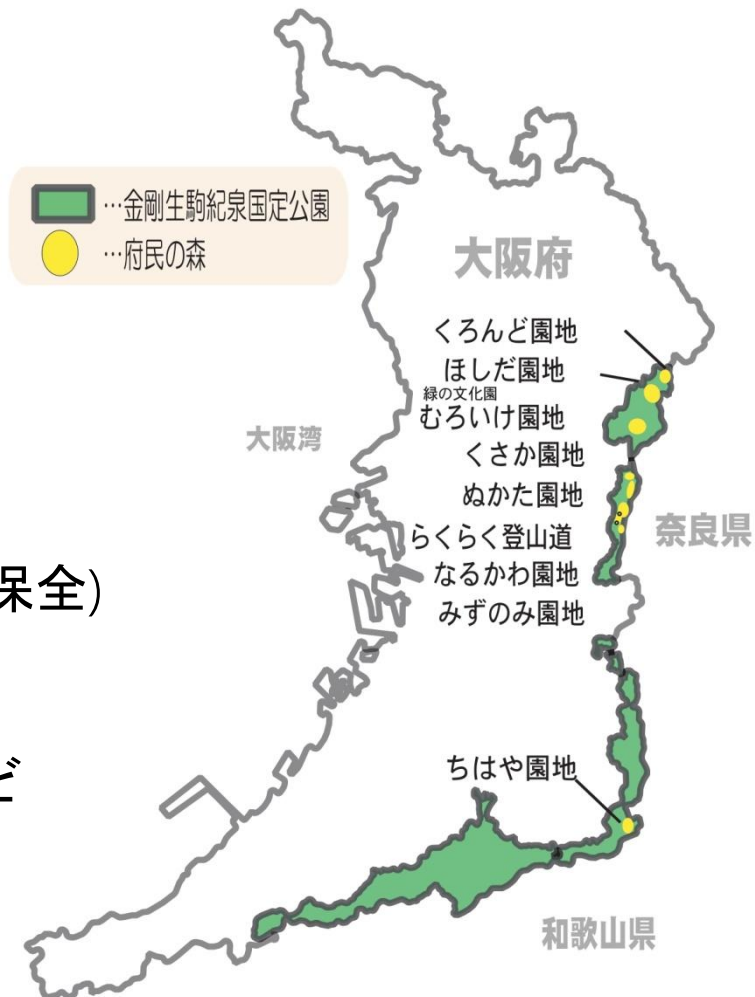
ここにつくる府民の森は自然の草花や色々な樹木を植え、季節豊かにして色々な生きものがすむ、いにしえの人たちが安らかに生駒の山に親しんだような美しい山に、そして府民を守る頼もしい山にしたい。

こんな願いを込めて府民の森は作られいつまでも保存されるのです。

事業期間:S42から約10年, 事業費:60億円(当時) → 国から借金
面積 :約600ha

4. 府民の森の今日的意義

- 人が自然を楽しみ触れ合う場
- 人が都市を離れた癒しの場
- 色々な生物がいる場所(生物多様性保全)
- 自然の大切さを学ぶ環境教育の場
- 気候の緩和・水源確保・災害防止など



来園者:年間150万人を超える(2018年時点)